

ハローワーク岐阜 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

○求職者の就職件数の目標（6,724 件）を達成するため、次のような取り組みを行いました。結果は、6,376 件と目標達成には至りませんでしたが、年度後半の就職件数アップにつながりました。

- ・当所では平成 27 年度から、就職の可能性を高める策を講じて能動的な職業紹介を行う取り組み「仕掛けるマッチング」を重点施策として取り組んでおり、今年度においても「1 担当者が 1 日 1 件以上仕掛けるマッチング」の目標を掲げ、就職件数アップの取組を徹底しました。
- ・担当者が 1 人の求職者を専任で職業相談・職業紹介を行う求職者担当者制を、1 担当者月 3 人以上を目標に掲げ、早期再就職に向け積極的な支援を実施しました。

○雇用保険受給者の早期再就職支援にも重点を置き、次のような取り組みを行いました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、取り組みができない期間もありましたが、目標（2,429 件）をわずかに上回る 2,471 件の就職につながりました。

- ・初回認定日の雇用保険受給者について、確実に職業相談を行うこととし、早期再就職のメリットと次回職業相談日の予約を促す取り組みを実施しました。
- ・雇用保険受給者のうち支給残日数が 29 日以下の方の認定日に、確実に職業相談を行うこととし、その後の再来相談を促す取り組みを実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ミニ企業説明会へ参加いただける求職者を増やすため積極的な参加勧奨を行うとともに、8 月に実施要領の見直しを行いました。その結果、初参加の事業所が増加したことで、求職者の参加者数も 1,145 人となり大きな成果を得ることができました。
- ・就職支援の充実には職業相談を担当するスタッフのレベルアップが必要であることから、「ホワイトボードによる事例検討」として、過去にあった困難な事例について職業相談を担当するスタッフがどのような支援や発言がより効果があるかについて意見を記載し共有する取り組みを 11 月より開始しました。
- ・求人を受理する部門（求人担当部門）と職業相談を行う部門（職業相談部門）との連携が重要なことから、「つぶやきコーナー」として

求人担当部門からは求人者がどのような人材を希望しているか等求人票に記載のない情報をプラスした「お勧め求人」等を、職業紹介部門からは求職者ニーズを踏まえた求人条件の緩和要望等を気軽にホワイトボードにつぶやくことで、リアルタイムにニーズを伝達・共有する取り組みを12月より開始しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ハローワークシステムの機能追加リリースが令和3年9月になされ、ハローワークオンライン紹介及びオンライン自主応募が可能となることで、求職者が自らハローワークに出向かなくても求人情報の収集と応募ができる環境が整うことから、ハローワークの窓口に来所される利用者に対しては窓口に来てよかったと提供いただけるよう今まで以上に個別支援が重要となると考えており、求職者担当者制、求人者担当者制を一層充実させるとともに、再就職への意欲の高い雇用保険受給者については引き続き重点をおき支援して参ります。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ハローワークの窓口へ出向くことを控える方がみられたことから、オンラインによる職業相談の実施等来所されなくても職業相談・職業紹介ができる環境を整え、ハローワークの利用促進を図ります。
- ・求人充足会議については、職員による事業所訪問と組み合わせて行うことにより、求人票記載内容の充実を図るとともに、求人票に記載されていない情報を職業相談窓口で提供することで、充足につなげる取り組みを開始します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・窓口に来所される求職者に窓口へ来てよかったと提供いただくために、求人の提案を行い次回の職業相談につなげる等手ぶらで帰さない取り組みが重要であることから、引き続き「仕掛けるマッチング」を重点取り組みとしていきます。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化により、離職を余儀なくされる求職者の増加が予想されることから、当該求職者を重点に人材不足分野求人への誘導や採用意欲の高い事業所からの求人の提案などを行い、需給調整機能の役割発揮に努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職 氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支援 を受けた重点支 援対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の 就職件数
実績	6,376件	7,541件	2,471件	97.3%	193件	763件	454件	94.3%	32,504件	2,747件	417件
目標	6,724件	7,790件	2,429件	107.8%	235件	835件	431件	93.4%	37,589件	3,283件	275件
目標達成率	94%	96%	101%	90%	82%	91%	105%	100%	86%	83%	151%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大垣 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

雇用保険受給者早期再就職件数について、上半期は、新型コロナウイルス感染防止対策により相談を控えるよう周知したが、予想以上に相談を希望する受給者が多かったことから、求職者担当制の割合を増やして、綿密な職業相談を行った。下半期においても、引き続き、求職者担当制による職業相談の充実を図って就職支援を行った。

生涯現役窓口での 65 歳以上の就職件数について、高齢者を対象とした座談会「ハロワサロン」を開催して、高齢者のニーズの把握に努めた。管外の近隣市町村も含めた「60 歳以上のおすすめ求人一覧」を作成して、積極的に情報提供を行いながら「高齢者向けのミニ面接会」を開催して就職支援を図った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談に関する「30 分 de 事例検討」を月 2 回開催して職員のスキルアップを図った。

また、雇用保険業務について、他部門の職員が受講しやすいよう 4 コースの「15 分 de 雇用保険」を設けて研修を行った。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

常時設置してある「業務改善提案」コーナーに「集中受付期間」を設定し、全職員に「集中受付期間リーフレット」を配布しながら提案の促進を図った。

新型コロナウイルス感染症の防止を図るため、1 時間毎に換気アナウンスを自動放送することで、職員の換気に対する意識付け及び来所者へ感染防止対策の周知を図った。

「事業所訪問に行って来ました」コーナーを設けて、求人票以外の知り得た情報（画像、訪問時に知り得た情報等）を掲載して求人充足に努めた。

外国人の就職支援を図るため、「外国人対象のミニ面接会」及び「外国人向け履歴書作成講座」を開催した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染の影響により取組が大きく左右されたが、引き続き、感染防止対策を講じながら、利用者に寄り添った求職者担当制の充実及び大幅に減少した求人確保対策の強化を図っていく。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染を見据えて、創意・工夫しながら業務運営を行っていく。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	HWの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	障害者の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,705件	3,301件	1,458件	102.3%	171件	325件	102件	11,913件	1,618件
目標	4,008件	3,785件	1,287件	109.7%	262件	365件	98件	13,748件	1,946件
目標達成率	92%	87%	113%	93%	65%	89%	104%	86%	83%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク多治見 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、来所された求職者の方に対し、相談窓口でのプラス・サービス（求人の提案、応募書類の添削等）の実施、求職者マイページを活用したマッチング求人の提供、求職者担当者制と求人担当者制による職員等の能動的マッチングを実施し、主要指標である「就職件数」「充足件数（受理地）」の目標達成を重点的に取り組みました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ハローワークシステムの刷新が予定されている中、今後課題解決支援サービスの提供がより一層重要視されるため、職業相談部門の職員等が自分自身の職業相談を客観的に振り返り、各自の職業相談技法の向上を目的とした「３０分で事例検討」と題して事例検討研修を１月から定期的に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、雇用調整助成金に関する問い合わせ及び申請が急増したことから、待ち時間の短縮などサービス改善のため、助成金担当以外の職員が対応できるよう所内研修を実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

応募書類に必要不可欠な自己ＰＲの記述を充実させるため、就職支援ナビゲーターによる「実践 自己ＰＲの書き方」と題した就職支援セミナー（集団指導）を開始しました。

「実際に働く現場を見学したい」と言う多くの求職者の声を受けて、隣接する美濃加茂公共職業安定所と合同で「応募前事業所見学」を実施しました。

大学などから出張相談の依頼があったことから、実施回数や内容等について協議を行い、３月から出張相談を開始しました。

求職者の減少に伴い、職業相談件数・紹介件数を増やすため、総合受付等で求人検索機の利用者に職業相談窓口への誘導案内を積極的に行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

事業所での求人の管理、画像情報の取り込み等の利便性を積極的にPRし、各事業所へ「求人者マイページ」の開設促進を促し、効果的な利用を勧めます。

求職者担当者制等で個別に支援をしている求職者を対象に、オンラインによる職業相談（セミナー等を含む）をPRし、効果的に活用します。

コロナ禍で先行きが不透明であるが、求職者が減少に転じれば、総合受付等で求人検索機の利用者に職業相談窓口への誘導案内にも力を入れ、職業相談・紹介件数の増加に繋げていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症拡大防止により事業所訪問が困難な状況ではありますが、あらゆる方法で収集した事業所・求人に係る情報を全職員・非常勤職員が共有し、求職者に必要なタイミングで提供をしていきます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	生涯現役支援窓口 での65歳以上の就 職件数
実績	3, 292件	3, 393件	1, 409件	96. 8%	196件	12, 322件	1, 422件	94. 6%	122件
目標	3, 712件	3, 600件	1, 260件	110. 2%	146件	12, 722件	1, 590件	93. 4%	105件
目標達成率	88%	94%	111%	87%	134%	96%	89%	101%	116%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク高山 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、地域状況から求人・求職の労働市場は単一であり、就職件数が求人充足につながることから、就職件数の目標達成を従来から最重点に取り組んでいます。地域状況が広域であり、日本で最も広い面積を有する高山市は「職業相談・紹介等の一体的実施に関する協定」による毎月の市内９か所での出張相談、飛騨市では「飛騨市雇用対策協定」による毎月の出張相談を実施し、求職者の利便性を高めています。

窓口での職業相談支援に加え、各職員・相談員が目標を掲げて郵送による情報提供を実施し、積極的なマッチングに取り組んでいます。また、失業認定日においては「職種別認定日」を設定し、職種別に応じたミニ面談会の実施、職種別・雇用形態別・地域別の最新求人情報を提供して就職件数向上を目指しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

近年、複雑多様化しているハローワーク利用者に対して、そのニーズや課題を的確に把握し、ひとり一人に合った職業相談を行うためには、職業相談技法の向上が不可欠であり、「オンライン d e 事例検討」と称した事例検討会を職業相談担当者全員を対象として実施しました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムの刷新により、求人者・求職者の利便性が向上しました。マイページを開設し、ハローワークインターネットサービスを主として活用する求職者にも求職活動の課題を抱える層がみられると考えられ、こうした層に対してハローワークのサービス、利用のメリットを周知、窓口に誘導しての求職者の態様に応じた職業相談を行うことが必要です。職員・相談員の「情報発信力」と「相談スキル」の習得・向上を日常的に図っていき、求職者の期待に応じられる付加価値の高い職業相談を行っていきます。

（４）その他業務運営についての分析等

令和２年度は、正社員就職目標件数を７８９件に掲げて取り組みましたが、７４０件の実績に終わりました。当所管内は観光関連及び宿泊・飲食サービス関連企業が多く、新型コロナウイルスの影響が大きかったと思われます。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率
実績	2,070件	1,969件	513件	95.7%	79件	4,611件	740件	97.1%
目標	2,004件	1,800件	560件	100.2%	78件	4,769件	789件	93.4%
目標達成率	103%	109%	91%	95%	101%	96%	93%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク恵那 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所は「45 歳未満の求職者」と「45 歳以上の求職者」の比率がほぼ 1：1 であり、「45 歳未満の求職者」の在職率が非常に高いことが特徴であることから、就職件数の目標を達成するために、在職率の低い高齢者に対する支援に取り組んできました。また、パート希望の女性が製造業務に就職していく割合が高いことからそこもターゲットとして支援をしてきました。

なお、高齢者の就職件数の増加を図るためには、高齢者が応募しやすい求人を多く揃えることが不可欠であることから、年齢条件を「60 歳以上」とした求人を積極的に開拓しました。特に、求人者に対して年齢条件を「60 歳以上」として募集することを積極的に提案をしてきました。

求職者に対しては、コロナ禍で外出を控える中、能動的マッチングを推進するため、求人情報提供を積極的に行い、P D C A サイクルによる年間目標の 1,200 件を上回る 1,369 件の実績となりました。

雇用保険受給者に対しては、新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言が明けてからは、失業の認定日の前日までに求人情報の提供を行うとともに、失業の認定日当日の全員職業相談時に求人の積極的な提案を行い職業紹介に繋げました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハローワーク利用記録票による体調管理と利用者の把握並びに受付での検温を実施しました。また、待合室の密を避けるため会議室を開放しました。

雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金の説明や申請については、完全予約制による対応をして感染拡大の防止に努めました。

業務改善においては、ハローワーク揖斐で行われている「30 分で事例検討」を参考とし、職業紹介部門を対象に事例検討研修を行い、異なる視点からの職業指導方法について自身で気づかせるとともに、自身の振り返りを行わせることで職業相談技法の向上を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めます。

また、令和3年9月のシステム追加リリースに開始される「オンラインハローワーク紹介」「オンライン自主応募」を推進するため、求職者マイページ及び求人者マイページの開設促進を図ります。

雇用保険受給者に対しては、新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言が明けてからは、積極的な求人情報の提案を行い職業紹介に繋げてきました。ただし、PDCAサイクルによる雇用保険受給者の早期再就職件数の年間目標に182件とあげていましたが、結果は160件となり目標達成をすることが出来ませんでした。これについては、目標達成のため認定日マッチング(Nマッチング)と称して求人情報提供を行っていましたが、全ての受給者を対象者とするなど職員側の負担も多く、提供することが目的になっていたと考えられるため、今後はマッチングをより意識し、対象者についても緊要度が高い者とするなど要領の一部を見直して取り組むことにしました。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症拡大により、岐阜県では令和2年4月10日に県独自の非常事態宣言が発令され、翌週の4月16日には緊急事態宣言が発令されました。時を同じくして新規求人数が大幅に減少し、令和2年3月が428件であったものが、4月は173件、5月は149件と大幅に減少することになりました。このため、有効求人倍率が5月は0.92倍、6月は0.88倍と1倍台を割ることになりました。その後5月14日に緊急事態宣言が解除され、新規求人数が6月には355件と4・5月の反動もあり大幅に増加しました。その結果7月には有効求人倍率が1.12倍まで回復し、その後は1倍台で推移しています。

また、新規求人数減少の影響もあり当所の目標としている正社員求人数についても、令和2年4・5月の受理件数が少なくなり、その影響が尾を引き年間目標の1695件に対して1603件と達成が出来ませんでした。

さらに、令和2年度の事業所訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大のためほとんど出来なかったことから、求人開拓も上手く進みませんでした。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の様子を見ながら、正社員求人開拓のための事業所訪問も実施していきたいと考えています。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用対策協定を締結している恵那市とは、日頃より密な連携を取りながら協力体制を組んでいます。そのため、企業説明会、合同面接会、女性やシニア対象のセミナー等にも積極的に協力をして取り組んできたことが評価できることと考えています。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	744件	620件	160件	79.3%	55件	1,603件	297件
目標	740件	579件	182件	91.0%	36件	1,695件	325件
目標達成率	100%	107%	87%	87%	152%	94%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク関 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者担当者制、提案求人ストック１０、など能動的な取り組みを実施しました。

特に、提案求人ストック１０では、求職者ニーズを考慮したおすすり求人常時手元に１０件以上ストックし、相談時にプラス１求人として提案した結果、就職件数は、上期１４件（目標４５件）、下期４０件（目標４０件）と成果をあげています。

上期は、新型コロナウイルス感染拡大が業務に大きく影響しましたが、下期には、求職担当者制の対象者を雇用保険受給者に絞込むなどの工夫により、雇用保険受給者早期再就職件数は目標達成となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

日常業務を通した指導のほかに、システム刷新を踏まえたハローワークのあり方の観点から、相談技能スキルの向上を目的とした研修を１月から開始しました。計画的、継続的、短時間で取り組みやすい内容とした「３０分で、事例検討」は、他の相談者の視点を知るという気付きも多く、今後も継続していきます。（８回、各３人 延べ２４人）

雇用調整助成金関係では、適切な受理対応ができるように、職員が利用者役となるロールプレイ形式で研修を実施しました。申請受理審査のシミュレーションにより自信をもって利用者対応ができる効果がありました。（４回、３人 延べ１２人）

また、労働基準監督署に講師を依頼した研修により、労働法令の基礎知識を学び、関係機関として適切に連携できるような取り組みを実施しています。近隣所である美濃加茂公共職業安定所にも参加を呼びかけて、学びの機会を提供しました。（１回、２２人）

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

高齢層の利用者向け「６０歳以上の方が応募しやすい求人一覧」を見直し、利用者へ積極的な提供をしました。システム刷新で利用しづらくなった印象をもつ方に好評で、窓口相談への誘導にも役立っています。

新型コロナウイルス蔓延防止に配慮して、積極的な企業説明会を自粛していましたが、人手不足分野である介護事業所については、各回１社限定で感染防止に努めながら９回実施することができました。延べ２０人の参加があり、３名就職実績がありました。

求職者サービス向上のため、職員がハローワークシステムを使いこなせるような研修資料「知っていると便利！求人活用術」を作成し、職員に利用を促しました。求人検索のちょっとしたコツをまとめてあり、利用者サービスの向上に役立っています。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当初独自の取り組みである、面接前に会社見学をして応募を検討することができる「企業参観日」は、会社見学 OK の企業登録を毎月 2 件する、としていました。新型コロナウイルスの影響で求人が激減したことや、好調な企業でも人の出入りを制限したい意向などで積極的な周知や登録勧奨ができず、目標を達成することができませんでした。

3 年度は、企業見学により会社の状況を肌で感じて自ら応募を選択することが、早期離職の防止につながる点も強調して事業所や求職者に説明周知を図ります。登録企業は優先的に企業相談会を実施するなどのメリット感も活用しながら就職、充足につなげる機会を作ります。

また、「ストック 10」による求人提案は、紹介件数に対する就職率が 57% と高いため、求職者担当者制と併せて目標数値管理をしながら取り組みを強化します。

（４）その他業務運営についての分析等

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症が経済社会に与えた影響が大きく、離職者の急増、求人の激減、雇用調整助成金の激増により業務指標に大きく影響をうけ、各種目標の達成が困難な状況となっていました。

最優先事項が感染拡大防止対応となり、来所勧奨や訪問による能動的業務形態を抑制し、雇用調整助成金の早期支給を優先して実施していました。

十分な人員と時間が確保できないなかでしたが、職員の工夫により、企業説明会の開催、求職者ニーズの高い求人開拓、高年齢者向け求人情報の発行、雇用保険受給者に対する担当者制によるマッチング強化、定期的な事例検討による職員資質向上研修などを実施することができています。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	就職支援ナビゲー ターの支援による 正社員就職件数
実績	1, 816件	1, 724件	547件	91. 5%	132件	5, 033件	847件	194件
目標	2, 004件	1, 838件	547件	102. 5%	90件	5, 820件	929件	274件
目標達成率	90%	93%	100%	89%	146%	86%	91%	70%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク美濃加茂 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染拡大の影響による離職者の増加が一定程度見込まれる中、「就職件数」「雇用保険受給者の早期再就職件数」に重点を置き、次のような取組を行いました。

- ・平成25年度から実施している能動的な取組「仕掛けるマッチング」を徹底し、全紹介に占める仕掛けるマッチングによる紹介が80%を超える取組とすることができ、最終的には年間目標を超える就職件数1310件につながりました。
- ・求職者担当者制による個別支援、給付制限期間中の雇用保険受給者に対する積極的なアプローチ、再就職手当シュミレーションシールの貼付による就職意欲の喚起、認定日に合わせたミニ面接会の開催について、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、その時々に応じてできる取組を精査し実践した結果、就職件数の年間目標と併せ、雇用保険受給者の早期再就職件数目標も達成できました。

②地方自治体との連携の推進

当所では、地方自治体及び地域の商工団体との連携においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により年度当初の計画の変更を余儀なくされた部分はありましたが、日常的な「顔の見える関係」を礎に次のような取組を行いました。

- ・白川町、白川町商工会との連携協定に基づく月1回の白川町出張相談を、緊急事態宣言発令期間を除き継続して実施しました。
- ・美濃加茂市との連携協定に基づくみのかも女性活躍センター「リオラ」での月1回の出張相談を、緊急事態宣言発令期間を除き継続して実施しました。
- ・美濃加茂労務対策協議会との連携による「みのかもジョブフェア」を2月に実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い庁舎内での長時間滞在に懸念を示す利用者がみられる中、初めて来所される方への最初の予備相談を行う窓口を1階総合受付脇に整備し、HWの各種案内やこれまでにない雇用調整助成金や休業支援金・給付金の簡易相談等を行うことで来所目的が達成できる方もあり、待合室での混雑・三密を防ぐ対応につなげることができました。また、これにより窓口利用を躊躇している利用者に対し、HWの各種サービスを案内することでの確な窓口への誘導にもつながりました。また、アルコール消毒液や相談窓口の遮蔽板設置などの感染防止対策に加え、来所者には庁舎入口で全ての方に検温を行うとともに、待合室が手狭である中、混雑時は駐車場での待機ができるよう、希望者には本人携帯電話での呼び出しを行うなど、可能な限りの感染防止対策を工夫し、

来所者が安心して利用できる環境を整備しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中、ハローワークシステムの追加リリースを令和3年9月に控え、求職者自らHWに出向かなくともインターネットを活用し就職活動ができる環境が一層拡大することが見込まれるところですが、そうした中でもHWの窓口へ来所する求職者に対しては、これまで以上に個々のケースに応じた支援が重要になると考えており、仕掛けるマッチングをはじめとした能動的な職業紹介、担当者制による求職者支援・求人者支援の一層の強化を図ることを目指します。

また、引き続き白川町・白川町商工会との連携協定に基づく出張相談、美濃加茂市との連携協定に基づくみのかも女性活躍推進センター「リオラ」での出張相談、美濃加茂市労務対策協議会との企業説明会「ジョブフェア」等について、新型コロナウイルス感染防止策を踏まえた取り組みを工夫し、求職者への就職支援、ひいては地元企業への労働力確保につなげていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所では、ハローワークシステムの追加リリース第2弾を令和3年9月に控え、求人者・求職者に対するHWの利用方法が大きく変わることに、及び新型コロナウイルス感染防止への対策が引き続き見込まれる中、対面によらない求人・求職申込、職業相談、職業紹介への対応が不可欠となることを踏まえ、ハローワークシステム追加リリースの仕様並びにそれに伴う各種取扱について、またオンラインによる職業相談について、職業相談部門スタッフには確実な研修等を実施し円滑に対応できる体制を整備します。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数
実績	1,310件	1,038件	529件	87.3%	112件	4,711件	578件
目標	1,300件	1,080件	483件	102.2%	106件	4,480件	679件
目標達成率	100%	96%	109%	85%	105%	105%	85%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク中津川 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、新規求人数が減少していく中、「求人の確保」に重点を置き、特に求職者の希望職種の多い製造及び事務の求人開拓を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で求職期間が長期化する傾向があったため、プラス２サービス（求人票の提案）を積極的に実施し就職件数の増加に努めた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業主や在職者、求職者からハローワークの扱う助成金等に限らず相談が寄せられたため、窓口職員全員に国、地方自治体等が実施している支援策を周知し、相談者の求める支援策の情報提供及び問い合わせ先の情報提供を図った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者数が対前年比平均で３．８％減少、新規求人数が対前年度比平均で２３％程度減少している中で、有効求職者数が対前年度比１４．７％増加しており求職期間の長期化傾向がみられるため、求職登録後１～２ヶ月経過した求職者への管内求人状況の案内及び求人就職条件緩和指導等を行い早期就職に向け取り組む。

（４）その他業務運営についての分析等

今後も新型コロナウイルス感染症の影響で、来所を伴わない職業相談や企業説明会等の開催中止等の可能性があるため、企業情報の収集及び提供方法や窓口相談以外でのハローワークサービスの提供方法を積極的に取り入れ、郵便や電話による求人情報の提供など来所を伴わないサービスの提供を行った。

2 総合評価（※） 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業所訪問及び地方自治体と連携した就職面接会などが実施できなかった。また、雇用調整助成金等の相談件数・申請件数の増加に伴い、職業相談窓口の職員の一部を助成金も担当するなどにより、求職者担当制等の実施件数が減少した。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	932件	932件	230件	84.6%	36件	2,685件	357件
目標	1,056件	987件	250件	100.6%	52件	2,800件	433件
目標達成率	88%	94%	92%	84%	69%	95%	82%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率